

和久井屋
漆器の御用命は是非……
和久井屋へ

貸家案内
五丁目 勤人向 金四、五〇
長橋町 全 金五、五〇
舊城跡二ノ丸全 金八、五〇
柳町 全 金六、五〇

加藤營業所
白銀町(電話三三番)

健胃散
小野常治謹製

合遠藤の
喫茶部新設

種々
寒暖計 電話三〇番

春! 春!!
▼皆様の御用意
ワイシャツ
ネクタイ
メリヤス
帽子
下生服
女用

5丁目 **モリタヤ** 洋品店
電話 353番

四月一日より店舗擴張のため左記の所へ移轉仕候間何卒倍舊の御引立を賜度御願申上候

由良乃助
平町田町三十六常盤銀行通
永山酒店

外科
性病科
×光線科
平町田町(赤心堂病院跡)
安齊外科醫院
電話四七五番

当店はお陰様で
開店満五週年目の
櫻花に包まれました

特に本年は酒類は勿論總ての賣品を大々的割引致し最少の御散財にて最大の御愉快をお求め願ふ事に勉め候

端の池園公岡ケ松
わきと
割烹
電話二二六番

常新新聞

定部金貳拾五圓
一月五圓
三月十五圓
半年三十圓
一年六十圓

本社 同番地(電話六三〇番)
印刷所 常盤毎日印刷所

神社問題私見
近藤兵庫

結論、今日神社神道を國教にしようとする噂があり、それに關する批評がある、然し國教といふ概念如何によつては、現に國教であると言つてもよいのである、國教といふと歐洲に行はれた過去の國教訓時代に逆行するかの如く考へるならば、勿論時代錯誤の考である、然し神社神道の特質を考へ、對立的宗派的宗教でないと言ふ事が明かにされれば、

之を國教と言つても差支ないものである、或は國教といふ代りに國祭と言つた方がもつと誤解を起さないかも知れぬ。

神社神道は宗教でなくて祖先崇拜であるといふ説は、どうも事實に似つくり合はないやうに思ふ、家族的な祖先崇拜は寧ろ佛教に深く結合してゐるやうである、勿論國神の崇拜であるから、祖先崇拜の要素も含んでゐるけれども、決して單なる一般的祖先崇拜ではない、若し祖先崇拜といふ意ならば、私は藤原氏であるから、湊川神社を崇拜するといふ意味が薄くなつてしまふ。

耳鼻咽喉科専門
場所(舊診療所裏通り)
合津醫院
平町仲田町(電話五五九)

確友住
花は櫻保險は住友
愛しき妻子の爲めに
老後を樂しむ爲めに
子女の教育結婚の爲めに
事業資金の爲めに

經營者ノ確實ナル信用有ル全ク
契約者本位ナル保険料ノ最モ安
イ住友生命へ御ス、メ致シマス

住友生命保險株式會社
平事務所 福高 寛利
平代理店 金成泉一郎
平町材木町 電話七〇四番

三春の行樂麗かなお装ひに!
御用命は何卒三井へ

京御召 錦紗小紋 羽二重帶側
本セル 銘 仙 着尺モスリン
時節品豊富に取揃へて御座います

三井呉服店

花柳科専門
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

活版印刷の御用命を御願致します

明鮮美優
嚙町速敏

所刷印日每警常
五三町橋長町平
(番〇三六話電)

民政部會遂に

流血の慘

争闘場と化して 有耶無耶に終る

石城民政部會の反逆者除名の目的を以て開會される臨時總會は既記の如く野崎縣議が對抗的に策謀すべく豫想され周囲の

注目

が昨六日午後一時半から同派クラブに於て開會、若松會長座長席に着き萩原幹事長開會の辭を述べ議事に移つた處、野崎派が狩り出したと傳へらるゝ一組が八百長らしき喧嘩を始めたのを切つ掛けに満場毒舌の

應酬

に殺氣立ち隨所に殴り合ひが演ぜられ遂

咲急ぎの公園よ 慌しい金錠の音

人出に賑ふ昨日の松ヶ岡

松ヶ岡公園の櫻は今年是非常に咲き急ぎ昨日既に三分咲きとなりボカ／＼と暖い日曜日だけに櫻見る

人出多

は助川町のそれがし鐵工場の一團が花見の魁とあつて飲めや唄への大騒ぎ、他にも櫻樹の下に酒酌み唄ふ幾つかの陣があつて、其間を飾り親子が今日は飾りを持たずに太鼓叩いて唄ひ廻るも花見

風景の

一つでありビー／＼ガラ／＼やゴム風船の玩具屋が立ち並んだのも賑しい掛茶屋も既に一二軒開店に及んだが花は未だと思つて安心して居た幾軒の掛茶屋は金錠の音慌しく汗みごろになつて

小屋掛

けを急ぎ夜櫻を飾る電灯工事も大いに馬力を掛けて居た、何れも咲き急ぎに驚いての忙し振りである

永戸青年總會

石城郡永戸眞輪組合村聯合青年團の總會は五日午前十時より合戸小學校に於て開催したが辯論其他當日の競技優勝者左記の如くである

釋尊の降誕を祝ふ

各宗聯合の花祭り

晝は子供會を開き 夜は一般の爲め佛教講演

石城郡各宗派の寺院聯合に依つて例年の如く釋尊の降誕を祝ふ花祭りを催す爲め

都會に憧る、青年達への警告

世相の一斷面を物語る

この事實を見よ ともいたし方なく食物もとらず平まで来た事が解つたので非常に同情し郷里に歸つて眞面目に労働をする様ねんごろに論じた上伊達郡桑折驛迄の汽車賃を與へて

出發させ たが五日同書記に當伊達郡大枝村野田精一と云ふ青年から救はれた事を感謝した書狀が来たので先に救つた青年の名が解つたが、失業に苦んだ青年野田は將來郷里にとゞまつて眞面目に田畑を耕すと堅い決心であるとの事だがかうした悲劇は各所に演ぜられてゐる

奴行列の代り

賞假裝行列

縣社の祭禮に

平町縣社子鐵倉神社祭禮餘興として奴行列の計劃ありしは既記の如くであるが費用其他の都合によつて是れを中止し其代りに懸賞假裝

飯田翁逝く

葬儀は明日 平町一丁目飯田一二翁は六日午後十一時半逝去し八日午後二時性源寺に於て葬儀を執行すると向は氏の半生は極めて波瀾に富み目下は聚樂館主として本縣演通りの興業界に名あり弓道の名手であつた

平青年幹部會

平青年には八日午後七時より藤田女學校に於て幹部會を開き左記事項を附議する由

縣社子鐵倉神社祭禮奉仕の件、忠魂祭參列の件、定時總會開會の件其他

一千五百圓が 突然轉げ込む

夢の様な話

芽出度會の賑しさ

現金千五百圓が一時に轉げ込んだといふ景氣の悪い折柄だけに一層景氣の好いお話▼平區裁判所の書記吉田常代君は生れて一度も一人で茶屋上りをした事のないと云ふ程當節の若い者には珍らしい堅物▼實直な人だけに心掛けもよく給料を割いて一枚五圓の復興債券を買ひ求めて置いたものだ▼夫れがフランに一等當籤千五百圓の紙幣束は完全に懐中に舞ひ込んだ▼處で是非その喜びを分かちたいと一昨夜公園のときわに同僚を招きお芽出

窃盗夫婦が

平署に捕る

東京府下大崎町字桐ヶ谷五〇四收元義(三)及び同人内

父一二儀 病氣療養中の處 藥石効なく六日午後十一時半 死亡仕候間生前辱知各位に謹 告仕候

追て八日午後二時自宅出棺平町長橋町性源寺に於て佛式に依り執行致し候

昭和五年四月七日

飯田近治 外親戚一同

縁の妻双葉郡廣野村生れ根本ハル(三)の兩名は本年二月中旬茨城縣新沼郡土浦町字向町長谷川將則方に同居中元義は同家の黒ラシヤオ

バー(價格五十圓)及び現金十圓をハルは海老茶色本セル女コートを取取しハルの郷里に高飛びの途中平署員の手には捕はれた